

# 西部地区特別支援学級 指導のポイント（案）

～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

□ 年齢や学年相応の言葉づかいをしている。

～ちゃん ⇒ ～さん    ～だよね ⇒ ～ですね  
はやくしなさい ⇒ ○○分までにしましょう



呼名の仕方等は校内で統一することが大切です。

□ 指示は短く、具体的な言葉で伝えている。

筆箱を持って、後ろに並んで、図書室に行きます。  
⇒ 図書館に行きます。出席番号順に並びます。  
持ち物は筆箱だけです。



指示を板書するなどの視覚化も有効です。

□ 曖昧な表現を避け、できるだけ具体的な言葉で表現している。

だいたい、このくらいです。 ⇒ 縦30cm、横20cm、重さ10kgです。



具体的な表現を使うことで、思考のプロセスを確認することにもつながります。⇒「思考モデル」

## 障がい特性に応じた対応をする中で、よりよい「言語モデル」を目指す。

□ 時・場所・状況に応じた適切な言葉づかいを意識している。

来校者と出会った場面で…

- ・ 御用件をお伺いいたします。
- ・ 校長室でしばらくお待ちください。よろしくお願ひいたします。



対応中の体の動きなども大切です。⇒「行動モデル」



□ 指示代名詞を使わず、具体的に話している。

「あれ」「それ」「あそこ」「そこ」  
⇒ 体育館の東側の階段下に集合しましょう。



具体物を使ったり、図にあらわしたりするなど、他感覚に働きかけることも有効です。

□ 声の大きさに気を付けている。

声の大きさの視覚化

(例) 声のものさし



視線を合わすこと、身振りや表情等も大切です。



# 西部地区特別支援学級 指導のポイント（案） 西部教育局

～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

◇指導のポイント 『障がい特性に応じた対応をする中で、よりよい「言語モデル」を目指す。』

年齢や学年相応の言葉づかいや対応を行っている。

指示は短く、具体的な言葉で伝えている。

声の大きさに気を付けている。

## 障がい種別 指導のポイント(案)

◇弱視者

一人一人の見え方に適した教材・教具や学習環境を準備している。

◇難聴者

コミュニケーションの取り方を工夫している。

◇知的障がい者

ねらいを達成できるように、スモールステップの指導に心がけている。

◇肢体不自由者

補助用具やコミュニケーション支援のための機器等を活用している。

◇病弱者及び身体虚弱者

自分の病気に対する正しい知識や生活の管理をしていく技能、意欲を育てるような指導を行っている。

◇自閉症・情緒障がい者

学習及び生活をしやすくするための配慮をしている。

# 西部地区特別支援学級 指導のポイント（案） 西部教育局

～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

◇指導のポイント 『障がい特性に応じた対応をする中で、よりよい「言語モデル」を目指す。』

<input type="checkbox"/>	年齢や学年相応の言葉づかいや対応を行っている。	
<input type="checkbox"/>	指示は短く、具体的な言葉で伝えている。	○子供たちの人権を大切にした接し方ができているか。 ○障がいの特性を十分に理解した上で、適切な指導や必要な支援がなされているか。
<input type="checkbox"/>	声の大きさに気を付けている。	

## 障がい種別 指導のポイント(案)

◇弱視者

<input type="checkbox"/>	一人一人の見え方に適した教材・教具や学習環境を準備している。
--------------------------	--------------------------------

◇難聴者

<input type="checkbox"/>	コミュニケーションの取り方を工夫している。	○社会で自立していくために必要な知識・技能を身に付けるための指導・支援の工夫がなされているか。 ○子供たちを理解し、障がいにもとづく困難を改善・克服していくために、必要な知識・技能を獲得するための基本的な指導・支援が行われているか。
--------------------------	-----------------------	---

◇知的障がい者

<input type="checkbox"/>	ねらいを達成できるように、スモールステップの指導に心がけている。
--------------------------	----------------------------------

◇肢体不自由者

<input type="checkbox"/>	補助用具やコミュニケーション支援のための機器等を活用している。
--------------------------	---------------------------------

◇病弱者及び身体虚弱者

<input type="checkbox"/>	自分の病気に対する正しい知識や生活の管理をしていく技能、意欲を育てるような指導を行っている。
--------------------------	--

◇自閉症・情緒障がい者

<input type="checkbox"/>	学習及び生活をしやすくするための配慮をしている。	○子供たちの成長を促しながら、その障がいによる困難を改善・克服する方法を支援者自身が見つけ出し、実行することができているか。
--------------------------	--------------------------	--

# 西部地区特別支援学級 指導のポイント 具体例（案） 西部教育局

～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

## ◇指導のポイント 『障がい特性に応じた対応をする中で、よりよい「言語モデル」を目指す。』

- ・障がい特性を十分に理解した上で、適切な指導や必要な支援をしている。
- ・子供たち一人一人の人権を大切にした関わりをしている。  
～ちゃん ⇒ ～さん      ～だよね ⇒ ～ですね  
はやくしなさい ⇒ ○○分までにしましょう。

## 障がい種別 指導のポイント(案)

### ◇弱視者

- ・照度の調整ができる環境が整えられている。
- ・文字等を拡大している。
- ・見えやすい色を使っている。
- ・境界や輪郭をはっきりさせている。  
【備品・補助具の例】  
拡大読書器、弱視レンズ、傾斜机、書見台 等

### ◇難聴者

- ・筆談、身振り、簡単な手話、指文字等を活用している。
- ・きこえの状態に配慮した声の大きさと話している。
- ・きこえやすい環境整備をしている。（座席の位置、机・椅子の脚のノイズ軽減対策（テニスボール等の使用））
- ・補聴器等を適切に装用できるための指導をしている。

### ◇知的障がい者

- ・生活に根ざした具体的な経験や実際的な活動を取り入れている。  
【スモールステップの具体例】
- ①年間の目標 「トイレ（小便）に行きたい」という意思を自分から言葉や合図で表示できるようになる。  
ステップ1・・・教師に手を持ってもらい、ズボンの前をトン、トン、2回たたく。  
ステップ2・・・一人でトン、トン、と2回たたく。  
ステップ3・・・一人で「トイレ」と言いながらズボンの前を2回たたく。  
ステップ4・・・教師のまねをして「トイレ」と言う。
- ②年間の目標 定規を使って決められた長さの線を引くことができるようになる。  
ステップ1・・・点と点を線で結ぶことができる。  
ステップ2・・・自分が使いやすい定規を選ぶ。（目もりの数字、定規の厚み等に考慮）  
ステップ3・・・始点と終点に定規を合わせることができる。  
ステップ4・・・指の腹に力を入れ定規を押さえ、始点から終点まで線を引くことができる。

### ◇肢体不自由者

- ・書字の能力に応じたプリント等を作成している。（マスの大きさ 等）
- ・鉛筆を握りやすくするための鉛筆ホルダー等の補助具を使用している。
- ・計算ドリルの学習にパソコンやiPad等を使用している。
- ・話し言葉が不自由な子供にはコミュニケーションを支援する機器を使用している。（文字盤や音声出力型の機器 等）

### ◇病弱者及び身体虚弱者

- ・通院や服薬、活動の制限、食事の制限、医療機器の使用、感染予防等について必要な指導している。
- ・ICT機器を積極的に活用し、間接的な経験を含んだ学習を取り入れている。
- ・活動が負担過重にならないように注意している。

### ◇自閉症・情緒障がい者

- ・一日のスケジュールを提示し、見通しをもちやすくしている。
- ・「○分まで続けます。」「プリント○枚できたら休憩です。」等、活動の見通しをホワイトボード等に示している。
- ・活動の場を構造化している。
- ・視覚的な情報をわかりやすく提示している。
- ・リラックスできるスペースを設置している。

# 西部地区特別支援学級 指導のポイント（案） 西部教育局

## ～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

<b>◇弱視者</b>	
1	<input type="checkbox"/> 歩行等の妨げになる物を、床面や頭上に置かないようにしている。
2	<input type="checkbox"/> 机の角や突起物には、カバーをする等、安全面に留意している。
3	<input type="checkbox"/> 適切な採光を確保している。
4	<input type="checkbox"/> ロッカーや必要な道具には、聴覚や触覚を活用できるように工夫している。
5	<input type="checkbox"/> どのような状態が見えにくいかを理解し、対象物自体を拡大する等、一人一人の見え方に適した教材・教具や学習環境を準備している。 (例) 文字等を拡大する。見えやすい色を使う。境界や輪郭をはっきりさせる。 等
6	<input type="checkbox"/> 資料等はあらかじめ渡し、読む時間等を確保している。
7	<input type="checkbox"/> 指示代名詞（「あれ」「それ」「あそこ」「そこ」等）を使わず、具体的に話している。
<b>◇難聴者</b>	
1	<input type="checkbox"/> 生活や学習場面で騒音を軽減する工夫をしている。（例）椅子の脚へのテニスボールの使用 等
2	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの取り方を工夫している。（例）筆談、身振り、手話、指文字 等
3	<input type="checkbox"/> きこえの状態に応じた学習形態や集団活動を工夫している。
4	<input type="checkbox"/> 聴覚活用に配慮している。（例）補聴器等の装用・管理、音や言葉をきき取る指導 等
5	<input type="checkbox"/> 教科指導の中でも、言葉の理解や定着を意識した指導を行っている。
6	<input type="checkbox"/> 話の内容が確実に伝わったか、確かめる方法を工夫している。
7	<input type="checkbox"/> 曖昧な表現は避け、できるだけ具体的な言葉で指示をしている。
8	<input type="checkbox"/> 話し手の口元が見えるような位置で、ゆっくりはっきりとした口調で話している。
9	<input type="checkbox"/> 絵や写真、具体物、身振り、文字等の視覚的な手がかりを組み合わせて、聴覚からの情報を補いながら指導している。
<b>◇知的障がい者</b>	
1	<input type="checkbox"/> 具体的な言葉で話したり、指示を1つずつ伝えたりすることで、「わかった」「できた」という気持ちをもたせる指導に心がけ、成功体験を積み重ねている。
2	<input type="checkbox"/> ねらいを達成できるよう、スモールステップの指導に心がけている。
3	<input type="checkbox"/> 本人の理解やスピードに合わせて指導したり、課題や活動の量を調整したりしている。
4	<input type="checkbox"/> 見通しをもたせるために、わかりやすいヒントや教材・教具を用意している。
5	<input type="checkbox"/> 年齢や学年相応の言葉遣いや対応を行っている。
6	<input type="checkbox"/> 身辺自立や社会生活に必要な知識、技能及び態度が身に付くよう、生活に結び付いた実際的で具体的な学習を行っている。
<b>◇肢体不自由者</b>	
1	<input type="checkbox"/> 車椅子や歩行等での移動に障がいとなる物を置かないようにしている。
2	<input type="checkbox"/> できる限り段差がない環境を整えている。
3	<input type="checkbox"/> 安定した姿勢が保持できるように、机や椅子の位置や高さ等に注意している。
4	<input type="checkbox"/> 経験不足を補うための実際的な体験活動を取り入れている。
5	<input type="checkbox"/> 指導の効果を高めるために、補助用具やコミュニケーション支援のための機器等を活用している。
6	<input type="checkbox"/> 自立活動の時間を中心に、身体の動きに関する指導を計画的に行っている。
<b>◇病弱者及び身体虚弱者</b>	
1	<input type="checkbox"/> 学力や学習空白、健康状態、心理状態等を考慮して、学習時間を設定している。
2	<input type="checkbox"/> 自分の病気に対する正しい知識や管理していく技能、意欲を育てるような指導が行われている。
3	<input type="checkbox"/> 学習活動、休憩等を効果的に使用できるように、畳やソフトマット等で作られたスペースを設けている。
4	<input type="checkbox"/> 経験の偏りが見られる場合が多いため、活動が負担過重にならないように注意しながら、直接的な体験を含んだ学習を取り入れている。
5	<input type="checkbox"/> コンピューター等の情報機器を積極的に活用し、間接的な経験を含んだ学習を取り入れている。
<b>◇自閉症・情緒障がい者</b>	
1	<input type="checkbox"/> 刺激となるものを整理したり、場の構造化を図ったりして、集中しやすい環境を整えている。 (例) 教室の全面的掲示を減らす。本棚など気が散りやすい場所にカーテンをつける。 等
2	<input type="checkbox"/> 片付けの場所や道具の置き場所をわかりやすく示している。 (例) 名前シールを貼る。片付け方の写真を貼る。 等
3	<input type="checkbox"/> 1日の流れや活動の流れをスケジュールとして提示したり、作業の手順表を活用したりする等、見通しがもてるような工夫をしている。
4	<input type="checkbox"/> 「いつ終わるのか」「どこまですれば終わるのか」を示し、見通しをもたせている。
5	<input type="checkbox"/> 指示は、具体物を使ったり黒板に書いたりする等、視覚的な情報を合わせながら具体的に出している。
6	<input type="checkbox"/> 予定に変更がある場合は、混乱しないようにわかりやすい方法で早めに伝えている。